

事業所名

だんだん

公表日 令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		状況に応じて、児童が使用すると想定される教材（プリント等）があれば、作成して持参している	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		各学校の対象児童は1名であり、スタッフ1名が交替で訪問支援を行っている	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員で意見交換する場を定期的に設け、問題点などを話し合っている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度の保護者による事業所評価の他、課題が提案される度に、速やかに対策を講じている	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝のミーティングや週に一度の職員会議の場で支援員が様子を報告し、意見等を把握して業務改善に繋げている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年度末に第三者委員による評価を頂き、意見等を参考にしている	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年に4回の社内研修の他、積極的に社外研修に参加してもらっている	保育所等訪問支援に特化した研修は見つけれられていないが、機会があれば参加したい
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		児発管や保育所等訪問支援計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、支援会議で課題等を分析して支援計画を作成している	

適切な支援の提供	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保育所等訪問支援員全員の共通理解の下、児発管や支援計画作成担当者が計画書を作成した後、職員全体による支援会議で協議・検討している	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		各学校の担任と面談を行ったり、支援会議の場で意向を口頭で確認したりしている	計画書更新時に学校担任にアンケート調査を実施するなど、より意向確認を充実させたい
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問支援員は計画書作成に参画し、計画に沿った支援に努めている	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○	標準化されたフォーマルなアセスメントツールは取り入れていないが、こどもの適応行動や日々の行動について、独自にアセスメントを行い記録している	事業所に合ったフォーマルなアセスメントツールを探していきたい
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童本人や家族への支援の他、訪問先学校職員に対しても学校の支援手法を尊重した上で、助言等を行っている 訪問頻度や時間については保護者や学校と協議して設定している	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		11に同じ	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	各学校へ訪問する支援員は1名であるため、事前打ち合わせや役割分担は行っていない	今後、複数名の支援員が訪問する機会があれば打ち合わせ等を徹底させたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	支援員間や児発管・管理者と振り返りを行っている 報告書を作成し、全職員に回覧している	全職員参加の打ち合わせは行っていない
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	○	学校の支援手法を尊重し、訪問員の役割を確認した上で、支援を行っている	訪問先の理念の確認はしていない

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	○		毎回支援報告書を作成し、職員間で検証し、改善につなげている	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に、保護者、訪問先共に、口頭で意向確認等をした上で、計画の見直しを行っている	今後はアンケート（書面）による聴き取りを実施していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援計画作成担当者が、相談室を中心とした支援会議に参加している 相談室を利用していない児童に関しては、関係機関で会議を行っている（コア事業所となっている）	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関連携は重視して行っている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		対象児童なし
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		児童発達支援センターや自閉症・発達障がい支援センターより助言を頂いたり、外部研修には積極的に参加してもらったりしている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・SMS・対面（送迎時など）で情報共有しており、必要に応じて来所面談や電話相談の機会を設けている	

保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	相談支援担当職員を中心に、ペアレントトレーニングの要素を取り入れた個別の相談支援を実施している 今年度はCAREプログラムの一般向け(保護者向け)動画配信情報の提供を行った	希望があれば、ペアレンティングトレーナー資格取得職員によるフォーマルなトレーニングの開催を検討したい 家族等参加の研修会の実施なども検討していきたい
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し、変更があれば都度通知している	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		説明をし、理解を促した支援計画書も共有している	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	○	保護者に対しては、面談等で意見・意向を確認し、職員が協議した上で計画書を作成している	一部の児童には直接意向を確認している 今後は全児童との面談の機会を設けていきたい
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		児発管や支援計画作成担当者が支援計画書の説明をしている 計画書は保護者の意見を取り入れて作成し、作成後に確認して頂いている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画書更新時に、対面による面談を行っている 希望があれば、その都度面談の機会を設けている 普段でも、連絡帳・電話・SMS等を利用するなど、気軽に相談して頂いている 相談支援担当職員も配置している	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者から要望が寄せられた時に、テーマを設定し、参加希望者を募って保護者会を開催している 今年度は一度行った	

	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対しては速やかに対応し、面談等に結び付けている 面談室も用意されている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	○	会報は発行していないが、都度連絡帳やメール等を通して保護者へ伝えている	2月にHPをリニューアルし、掲載内容を充実させたが、保育所等訪問の活動概要は掲載していない
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者・職員共に、契約時に説明し、サインを頂いている 関係機関等と情報共有を行う際は、必ず事前に保護者の許可を頂いている	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ジェスチャーや絵カード等を活用するなど、言葉以外でのコミュニケーションを図ることに努めている	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談には速やかに対応する体制を整え、助言や支援を行っている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○	学校の休み時間に情報共有は行っているが、担任は授業対応で多忙なため、カンファレンスを行う時間的余裕はない	必要に応じて、別途時間を設けてカンファレンスを行っていききたい
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援報告書を都度お渡ししている 対面や電話での報告も行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者・職員共に、契約時に説明し、サインを頂いている 関係機関等と情報共有を行う際は、必ず事前に保護者の許可を頂いている	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		環境の違いを理解し相手の立場を尊重しつつ、当事業所での対応について伝達し、必要に応じて助言を行っている	

非常時等の対応

42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成・ファイルして、いつでも閲覧できるようにしている 年3回（地震・火災・不審者想定）の避難訓練を実施している	
43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		今年度BCPを策定した 安全計画はBCPに組み込まれている 毎回の避難訓練時に、職員間で安全管理について確認を行っている 備蓄品や防災リュックを定期的に点検し、避難訓練も行っている	
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案発生後速やかに対象児童の保護者へ報告し、対応方法等について協議している 「事故予測」として、ヒヤリとする以前にも、考えられる危険を予測して対策を講じている	
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に1回、職員の虐待防止研修を行っている 今年度より、毎回（年4回）の職員研修内でも児童への対応について振り返りを行っている	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者には契約時にしっかりと説明をし、職員間では研修時等に確認をしている 支援計画書にも記載している ※今年度は虐待。身体拘束事案は確認されなかった	